

一般質問から

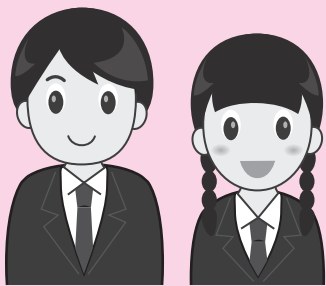
八幡中学校にも特別支援学級を 設置する事について

Q 本市においても特別支援学級の設置が進み、来年度に八幡中学校への設置が計画され、残すところは八幡中学校のみとなります。保護者から「特別支援学級を設けて欲しい」との切実な願いが届けられています。

2番 高波 幸雄

「教室が無く難しい」と聞いていますが、八幡中学校に特別支援学級を設ける工夫について本市の考え方を伺います。

A 現在、八幡中学校では校内のすべての教室を使用して、特別支援学級の設置は、現時点



つくばエクスプレスについて

Q 乗車人口の増加による混雑解消の対策について

A 平成26年度の4月から12月までの1日あたりの平均乗車人員は沿線全体では、開業年度の2倍以上となり、八潮駅では、開業年度の約3倍に迫る約1万7900人となっております。

混雑解消の対策では、乗車人員の増加に合わせて、車両の増備による運行本数の増加や、通勤快速の新設など、朝の通勤通学時間帯の上り列車を中心に、対策を図っており、本年3月14日には、ダイヤ改正により、運

18番 武之内 清久

転区間の延長や運転時刻などのパターンの見直しなど実施されました。市としても、混雑の状況は把握しており、利便性の向上を図るため、本年2月19日に首都圏新都市鉄道株式会社に、混雑緩和を始めたとした要望活動を行ったところであります。

今後につきましても、乗車人員の増加が見込まれますことから、引き続き、要望活動等により、混雑緩和の対策を求めています。

潮止揚水機場の活用について

Q 潮止揚水機場の活用方針について伺います。

A 潮止揚水機場は、昭和3年に設立認可を受けた「潮止村耕地整理組合」の事業の一環として、当時の潮止村の灌漑用に造られた揚水機場で、中川から農業用水を汲み上げ、地域の田んぼに用水の供給を行った施設です。

平成14年には、農業用の用水施設の機能を停止しましたが、同施設のポンプ及びモーターは八潮市登録有形文化財として登録されています。

また、同施設が関東大震災後

1番 鹿野 泰司

に建てられたコンクリート樋門として貴重であることや、樋門・揚水機・建屋も含め残っているのは珍しいとの専門家の意見も寄せられています。

平成24年度には、同施設の今後のあり方を検討し、「建屋を撤去し憩いの場としてメモリアルパーク等の施設」を設置するとの方向性をまとめ、地域の方々のご意見をお伺いするなど検討してきましたが、いまだ方針決定に至っていないことから、早期に対応方針を決定してまいります。

職員採用試験の受験資格について

Q 八潮市では、一般職をはじめ各職種の職員採用試験が行われていますが、受験資格について

「学校教育法に定める学校」を卒業または卒業見込みのものとなっています。

社会情勢は変化し、広い視野が必要と思いますが、今後の対応について伺います。

A 海外の大学や、学校教育法以外の法律によって規定されている「省庁大学校」を卒業された方からの申込みがありました。

今後の対応ですが、昨今の行



10番 郡司 伶子

政におけるグローバル化や、より多くの受験者を確保といった観点、また「学校教育法に定める」という要件がない自治体もあることから、来年度の採用試験から受験資格のうち「学校教育法に定める」という要件の有無については検討して参りたいと考えております。

空き店舗等を活用した、憩いの場づくりについて

Q 空き店舗等を利用して、まちかど休憩所や憩いの場づくりができないか平成25年7月に質問しました。今、さらに高齢者の孤立が、問題になっています。

こうした場の設定が、地域では必要になっていないのではないのでしょうか。その後の検討状況を伺います。

A 商店街における空き店舗をもつて実施しようとする場合には、行政が当初立ち上げ時の支援を行い、そして事業主体が責任を持って、継続して事業を

9番 池谷 和代

実施していく仕組みを構築しなければならぬと考えています。この取り組みについてお話ししたところ、ある商店会の代表者から空き店舗を活用した事業展開を今後考えていきたいとの意向を伺っています。事業主体となる商店会がどのような体制と事業内容で商店会の振興に役立てていくのか議論を進めていくとのことです。

市としても福祉関係施策との連携も視野に入れ研究していきます。

特定健康診査について

Q 特定健康診査の受診率向上の施策として、保健セン

ターを活用した日曜・休日等の受診実施について、本市のご見解をお伺いします。

12番 岡部 一正

A 現在、特定健診について、草加八潮医師会との契約に基づき市内の指定医療機関で実施していますが、健診後に適切な助言、また必要に応じて治療を受けていただき、健康づくりにつなげていただくことが重要と考えています。

保健センターでの実施については、検査機器の導入、スタッフの確保、また保健センターで

